

おおむら浪漫

花と歴史のまち大村 《ガイドブック》

ここ長崎の地、大村は古代からの
歴史と、桜に代表される花の街として
人々の心やすらぎ静かな海とともに
いにしえから栄えてきた歴史ある街です



【大村神社のオオムラザクラ】国指定天然記念物 ◎表紙の桜
大村市の市花 八重桜を二つに重ねた格好の独特の「段咲き」をして、花の外側にあるがく片の数は10枚（普通の桜は5枚）
花弁の総数は少ないもので60枚多いものでは200枚にも達するなどの特徴があり、優美で美しく里桜中の名桜と謳われています。

◎表紙のシルエットイメージ／天正遣欧少年使節顕彰の像

About 400 years ago the first Christian daimyo (feudal lord), Omura Sumitada, dispatched four youths to distant Europe in pursuit of his dream. Since then, Omura has remained proud of its prosperity as the first port open to the outside world. The rich cultural heritage and history have shaped the warm and open personality of the people of Omura.

Omura Roman Guide Book

およそ400年前、日本最初のキリシタン大名、大村純忠は
4人の少年たちを海の遠方のヨーロッパへ、夢とともに旅
立たせました。以来、大村は外の世界にも目を開く日本最
初の街として栄え今日の繁栄を誇っています。そして他に
見ることの出来ない貴重な遺産群から受け継がれた豊か
な文化、歴史は、すばらしい大村の人間性を育んできた
といっても過言ではないと考えます。

おおむら浪漫

- 《主な催し》
- 長崎街道大村宿ひなまつり..... 3月上旬～4月上旬
 - 松原宿ひなまつり..... 3月中旬～4月上旬
 - 旧楠本正陸屋敷大村のひなまつり..... 3月下旬～4月上旬
 - おおむら花まつり..... 3月25日～6月20日
 - しゃくなげ祭り..... 4月上旬～5月上旬
 - のだけ新茶まつり..... 5月3日～5月5日
 - 竹松ゆかたまつり..... 7月
 - おおむら夏越花火大会（夏越宵まつり）..... 8月1日
 - おおむら夏越本まつり..... 8月2日～8月3日
 - 鉢巻山ひがみ花まつり..... 9月下旬
 - 秋の夜長の武家屋敷「大村城下町灯籠まつり」..... 10月上旬
 - 松原くんち..... 11月中旬
 - 野岳湖ウォーク..... 11月中旬
 - 牧場まつり..... 11月
 - おおむら秋まつり..... 11月
 - 大村市農林水産まつり..... 11月
 - 法養祭（黒丸踊）..... 11月28日
 - 松原宿再発見ウォーク大会..... 2月
 - 長崎街道大村藩宿場まつり..... 2月11日

※開催日は前後する場合があります。

◎大村市観光振興課
〒856-8686 長崎県大村市玖島1-25
TEL.0957-53-4111 FAX.0957-54-7135
<http://www.omuranavi.jp/>
mail:kankou@city.omura.lg.jp

大村観光ナビ モバイル▶



◎（一社）大村市観光コンベンション協会
〒856-0834 長崎県大村市玖島1-45-3
TEL.0957-52-3605 FAX.0957-52-3652

◎（一社）大村市物産振興協会
〒856-0831 長崎県大村市東本町1-1
TEL & FAX.0957-54-1061

◎大村市観光案内所
TEL & FAX.0957-53-6060

※助成（一財）空港環境整備協会

花と歴史のまち大村 《ガイドブック》

目次

Omura Roman Guide Book

城下町大村 色彩の四季.....	3・4
日本最初のキリシタン大名 大村純忠.....	5・6
安土桃山時代に始まる大村キリシタン哀史.....	7・8
悠久の歴史 城下町大村.....	9・10
異文化の情報路 長崎街道.....	11・12
日本の維新と偉人の街.....	13・14
平和への誓いを永遠に.....	15・16
大村の郷土芸能と祭り.....	17・18
フルーツの里ふくしげと大村で楽しむスローライフ.....	19・20
野岳湖公園と大村の自然を満喫.....	21・22
生活の中で磨かれた大村匠の技と芸術.....	23・24
美味、大村独特の伝統料理.....	25
レジャーと観光案内.....	26
エリアマップ.....	27・28・29
アクセスマップ.....	30

悠久の詩情が静かに眠る大村

南朝の鎧武士が...

日本最初のキリシタン大名が...

西郷隆盛と勝海舟の歴史的会談に立ち会った武士が...

加藤清正の友が築いた城下町のそこに見えかくれしている...

激動の時代の先端に触れてきた街、大村には

真の開拓者たちの浪漫が

今も満ちあふれている

歴史の街、花の街、大村 《ガイドブック》

おおむら 浪漫

OMURA CITY

Latitude 32°54'00" north, longitude 129°57'30" east

Note: Above coordinates are reference,
based on the global coordinate system.

北緯32度54分00秒、東経129度57分30秒

*上記の測定値は世界測地系に基づく値で参考の値となります。



● 鉢巻山彼岸花

A-4

360度の大パノラマが楽しめる鉢巻山山頂は、9月下旬、赤、白、クリーム色といったおよそ100万本の彼岸花に彩られます。また、ひがな祭り期間中は地元特産品の即売会などが催されます。

● シャクナゲ

B-4

落差30mの滝を有する裏見の滝自然花苑は、滝壺まで遊歩道が整備され、4月上旬から5月上旬まで彩り鮮やかな世界のシャクナゲ約40種類、およそ6,000本を楽しむことができます。



● 裏見の滝とシャクナゲ



● 野岳のコスモス

The four seasons in castle town Omura

● 大村公園の桜

大村公園の桜は、日本さくら名所百選に選ばれており、国指定天然記念物「オオムラザクラ」をはじめ、21種類約2,000本の桜が公園一帯をピンク色に染め、3月下旬から4月中旬まで楽しめます。3月25日から6月20日までの花まつり期間中はライトアップされ、夜も楽しむことができます。

G-5

大村公園「日本の歴史公園百選」「日本さくら名所百選」

城下町大村
桜、花菖蒲、シャクナゲ、彼岸花
季節の花が訪れる人を和ませる
色

Hanagoyomi 花ごよみ

【大村神社のオオムラザクラ（国指定天然記念物）】

八重桜を二つに重ねた格好の独特の二段咲きで、花の外側にあるがく片の数は10枚（普通の桜は5枚）で、花弁の総数は少ないもので60枚、多いものでは200枚にも達するなどの特徴があり、優美で気高く、里桜中の名桜と言われています。



3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	ソメイヨシノ						
	● オオムラザクラ、クシマザクラ						
	シャクナゲ						
		花菖蒲					
				● オオキツネノカミソリ			
						コスモス	
							ひがな花



● 花菖蒲

G-5

玖島城の長堀・南堀跡に九州最大級を誇る171種類約10万株およそ30万本の花菖蒲が咲き誇り、5月下旬から6月中旬まで、その優雅で気品のある姿を楽しむことができます。

自然に恵まれた大村のまちは、春が最も賑わいます。「花のまち大村」の始まりを告げる大村公園は、21種類約2,000本の桜をはじめ、約10万株およそ30万本の花菖蒲などが公園内を彩ります。「日本さくら名所百選」の地にも選ばれ、国指定天然記念物「大村神社のオオムラザクラ」は一見の価値があり見事です。

彩の四季



●大村純忠史跡公園 (市指定史跡) D-4

大村純忠終焉の居館跡を中心とした歴史公園。泉水の庭園跡が残され、キリシタンや南蛮貿易と関わった大村純忠について知ることができます。



●大村純忠居館跡にある泉水の庭園跡

天正遣欧少年使節のローマまでの航路図



●天正夢時計 F-5

天正少年使節のからくり人形が楽しい「天正夢時計」が置かれ、国際都市大村のシンボルとなっています。

Japan's first Christian daimyo, Omura Sumitada



●天正遣欧少年使節頭彰之像 F-7

長崎安土藩を築いた大村氏の像に似ています。像は左から正使の伊東マンショ、千々石ミヅル、副使の原マルチノ、中浦ジュリアン。

天正遣欧少年使節頭彰之像

大村純忠は当時、肥前最大を誇っていた島原の有馬家から養子に迎えられ、大村家第18代領主となり、1562年には横瀬浦を開港して南蛮貿易を始め、三城城を築きました。その後、福田、つづいて長崎を開港し、今日の異国情緒あふれる長崎の端緒をつくりました。

1563年には洗礼を受けて日本最初のキリシタン大名となり、1582年には、キリシタン大名大友宗麟（そうりん）有馬晴信と共に「天正遣欧少年使節」をローマに派遣したことで有名です。

天正遣欧少年使節は、西洋との交流が少なかった戦国時代の中にあつて、ローマという未知の世界へ挑み、ヨーロッパ各地で公式使節として大歓迎を受け、8年5ヶ月という大旅行のすえ、活字印刷機などヨーロッパの進んだ技術や知識を持ち帰り、日本の文化に貢献するなど、日本史に高くその名を残しています。

大村純忠



胸塚跡 E-6



首塚跡 D-6



錦田年跡 H-4



獄門所跡 E-6



(市指定史跡)

● 田下のキリシタン様式墓碑 C-2



(県指定史跡)

● 今富のキリシタン墓碑 C-5



● 妻子別れの石 F-6

受刑者たちが妻子と水盃を交わして最後の別れを告げ放虎原殉教地(斬罪所)へ引かれて行ったと伝えられる場所です。現在、別れの石は3個残っており俗に「涙石」と呼ばれ今でも昔が生えないと伝えられています。

● メダリオン・無原罪の聖母
(県指定有形文化財)
大村市立史料館蔵



日本最初のキリシタン大名大村純忠が治めていた時代は、領民のほとんどがキリシタンであり全国の4割、約6万人もの信徒がおり、キリシタン全盛時代でした。また、純忠は長崎・茂木をイエズス会に譲渡し、布教と南蛮貿易の拠点としました。しかし豊臣秀吉が1587年(天正15年)に発令した伴天連追放令により、キリス

ト教宣教師の弾圧が始まりました。そしてその弾圧は江戸時代に「層厳しさが増し、信仰が禁止されキリシタンは厳しい迫害を受けました。なかでも「郡崩れ」と呼ばれる潜伏キリシタン発覚事件は、406人が斬罪になるという悲惨な結果を招きました。市内には殉教の哀史をとどめる遺跡が数多く残されています。

仏の谷 B-2

豊臣秀吉の
伴天連追放令に始まる
キリスト教弾圧の歴史
「郡崩れ」、「二十六聖人殉教」
明治時代まで続く哀しみ

【キリシタン巡礼】車で①時間コース

空港(またはJR大村駅)→①放虎原殉教地→②獄門所跡→③本経寺・大村藩主大村家墓所→④大村純忠史跡公園(大村純忠終焉の居館跡)→空港(またはJR大村駅)

【キリシタン巡礼】車で②時間コース

空港(またはJR大村駅)→①史料館→②放虎原殉教地→③獄門所跡→④本経寺・大村藩主大村家墓所→④大村純忠史跡公園(大村純忠終焉の居館跡)→⑤帯取「十二社権現」殉教地→空港(またはJR大村駅)

【大村藩の城下町】歩いてぶらり①時間コース(マップP29を参照)

大村公園→五教館御成門→牢屋の坂→中尾元締役旧宅→小姓小路→稲田家老屋敷跡→浅田家老屋敷跡→針尾家老屋敷跡→大村市一番地→大村公園(玖島城跡)

【大村藩の城下町】歩いてぶらり②時間コース(マップP29を参照)

大村公園→五教館御成門→牢屋の坂→中尾元締役旧宅→小姓小路→稲田家老屋敷跡→浅田家老屋敷跡→旧楠本正隆屋敷→旧円融寺庭園→草場小路→針尾家老屋敷跡→大村市一番地→大村公園(玖島城跡)

※旧楠本正隆屋敷以外の屋敷、旧宅には入れません。予めご了承ください。



土小路武家屋敷通り G-5



旧楠本正隆屋敷(国指定有形文化財) G-4



旧円融寺庭園(国指定名勝) G-5

承応元年(1652年)に4代藩主純長により創建された円融寺の庭園。江戸時代初期様式の石組庭園は、東西50mに及び斜面を利用して400個以上の石を組み合わせて造られ、今も当時のままの雄大な姿を残す名園です。また、白い玉石で水の流れを表現し、地形に合わせて作りだされた枯滝、枯流は山水画的な造形を見せています。



本経寺 大村藩主大村家墓所(国指定史跡) F-6

リスト教から仏教(日蓮宗)に改宗し、大村家の菩提寺として本経寺を建立しました。境内の大村家墓所は6mを超える五輪塔、等塔婆、石霊屋、宝塔、角塔など様々な様式が群立し、その壮大さ、石工技術の精巧さは見事なものです。これはキリスト教禁教の姿勢を形に表したものと考えられています。なお、本経寺から三城城にかけては、中世の城下町が形成され、当時の面影が通りに残っています。



色とりどりの
海石を漆喰で
固めた「五色塀」

草場小路武家屋敷通りに残る五色塀 G-5

悠久の歴史 城下町大村

肥前大村藩2万7千石の城下町大村。大村氏は中世から江戸時代を経て明治維新に至るまで、絶えることなく大村地方を治めてきた大名です。

その拠点は、大村館、三城城と移り変わり、1599年には、初代藩主となる大村喜前が三方を海に囲まれた要害の地に、玖島城を築きました。

このとき合わせて、5つの武家屋敷街が形成され、玖島城大手門に通じる「本小路」は、大村家一族や藩の施設が並んだ大通りです。このほか、「上小路」「小姓小路」「草場小路」「外浦小路」があり、今でも重厚な石垣が風格を漂わせています。岩船武家屋敷街への道筋にある旧楠本正隆屋敷は武家屋敷の様式をよく残しています。ほかにも、色とりどりの海石を漆喰で固めた大村地方独特の「五色塀」が小路のどこどこに残っています。これらの武家屋敷街は今も生活の中に生きています。

また、大村藩は幕府の意向に添うよう、キ



●松原宿

A-6

長崎街道25宿の一つで、古くから陸路・海路の交通の要衝として栄えました。鍛冶屋が発達し、かつては島根県安来から海路で玉銅（はがね）が運ばれてきました。



長崎街道は、江戸時代に長崎から小倉を結んだ街道です。鎖国の中、ヨーロッパとの唯一の窓口であった長崎に入った情報をいち早く江戸に伝え、また日本の情報を海外に伝えた街道です。

市内を通る街道は全長15kmにわたり、本陣のある大村宿、鍛冶の町松原宿がありました。街道周辺には武家屋敷跡や神社仏閣など多くの文化財が残っています。諫早市との境の鈴田峠は当時の様子をよく残しており、文化庁の「歴史の道百選」に選ばれています。



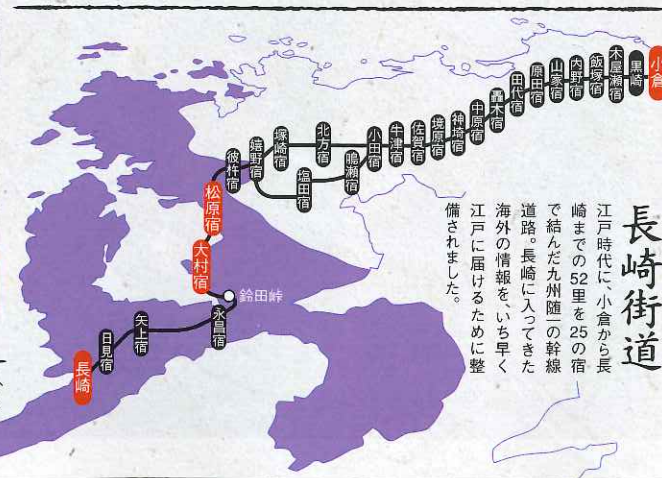
●大村宿 G-5

本陣、脇本陣、番所、駅馬（問屋場）、高札場、使者屋敷、船改番所があり、陸路・海路の要衝で大村湾一帯の商業の中心として栄えました。その後も発展を続け、大村の中心市街地を形成しています。左の絵はイラストレイテッドロンドンニュースに掲載された幕末の大村宿の様子です。



●ひなまつり

3月上旬から4月上旬まで、中央商店街（大村宿）、旧楠本正隆屋敷、旧松屋旅館（松原宿）で雛人形の展示など多彩な催し物が行われます。



長崎街道

江戸時代に小倉から長崎までの52里を25の宿で結んだ九州随の幹線道路。長崎に入ってきた海外の情報をいち早く江戸に届けるために整備されました。

異文化の情報路 長崎街道

鎖国下、江戸時代の海外情報や文化を日本に、また日本の情報や文化を外国に伝えた唯一の道

The Nagasaki Kaido, a key route for information on foreign cultures



●藩境石

●駕籠立場跡

●鈴田峠 文化庁「歴史の道百選」

1-1

大村藩領と佐賀藩諫早領の境界に位置する峠であり、藩境の重要な場所でした。街道を通行する大名が駕籠を降りて休憩できるよう、道から山中に突き出す形に石垣を築いた広場「駕籠立場所」などの遺構が残り、当時の面影を色濃く伝えています。



●五教館御成門(県指定史跡) G-5



●勤王三十七士の碑 G-5



●長与専斎の旧宅(市指定史跡) G-4



●石井筆子の像 G-5

近代女性教育や知的障がい者福祉の先駆者です。本小路通りにある五教館御成門の横に建っています。この像は、平成14年大村の偉人顕彰事業として建立されました。



日本近代医学の祖「長与専斎」、衆議院議長「楠本正隆」、世界的物理学者「長岡半太郎」、近代歴史学者の祖「黒板勝美」、明治維新達成に活躍した「渡辺清」ら大村藩勤王三十七士、女性教育と知的障がい者福祉の先駆者「石井筆子」らを輩出しました。

大村藩では藩校「五教館」を設け、藩内の子弟の育成に早くから取り組みました。幕末には明治維新前後に活躍する多くの優秀な人材を輩出しました。また、武士だけでなく、百姓、町人にも入学を許すなど当時としては画期的なことでした。あわせて武芸所を置き、文武両道の錬成につとめました。

Model Course

【大村の偉人達を訪ねて】車で2時間コース

空港(またはJR大村駅)→大村公園→五教館御成門→石井筆子の像→長与専斎の旧宅→長岡半太郎屋敷跡→旧楠本正隆屋敷→勤王三十七士の碑→空港(またはJR大村駅)

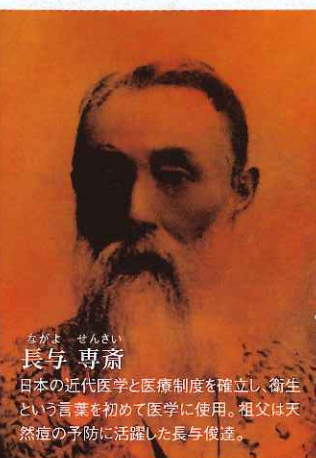
日本の維新と偉人の街

ここ、大村藩の文人や武人の足跡は日本の近代史に多くの偉業と記憶を残した



わたなべ きよし
渡辺 清

西郷隆盛と勝海舟とで行われた江戸城無血開城の会談に立ち会い、新政府では福岡県令や福島県知事として活躍。



ながい せんせい
長与 専斎

日本の近代医学と医療制度を確立し、衛生という言葉も初めて医学に使用。祖父は天然痘の予防に活躍した長与俊達。



くろいた かすみ
黒板 勝美

近代歴史学者。日本史の基本資料を活字化した「国史大系」編纂など日本の歴史学を確立した。



あらき じつべ
荒木 十畝

明治5年(1872)生まれ。近代日本画壇を牽いた人物。横山大観らと並び称される日本画会幹事。



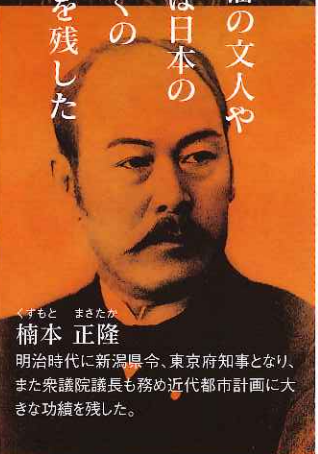
いしい はなこ
石井 筆子

文久元年(1861) 渡辺清の長女として生まれ、女性教育、知的障がい者の福祉と教育に偉大な業績を残した。



ながおか はんたろう
長岡 半太郎

世界的な物理学者。後にノーベル賞を受賞した湯川秀樹博士や朝永振一郎博士を教える。大阪帝国大学の初代総長として理学部を作った。



くすもと まさたか
楠本 正隆

明治時代に新潟県令、東京府知事となり、また衆議院議長も務め近代都市計画に大きな功績を残した。

●第21海軍航空廠

昭和16年10月1日開廠。全盛期には210万㎡の広大な敷地に180棟の工場が建設され、日本中から集められた技術者や工員など5万人が働き東洋一を誇った飛行機製作工場。昭和19年10月25日の大空襲で壊滅状態となり、昭和20年11月30日廃廠となりました。



●楠のある通り E-6

海へ向かう道路の街路樹、楠は開廠時に植えられたものが今も残っています。



●掩体壕 E-6

飛行機の防空壕。下原公園内に現在も残されています。



●工員養成所正門

今は大村市立西大村中学校の裏門になっている工員養成所正門。

E-6



Image photo



●慰霊塔公園 F-6

昭和19年10月25日の大空襲の犠牲者を記しています。防空壕を利用して建てられた慰霊塔では、毎年10月25日、第21海軍航空廠殉職者慰霊塔奉賛会の主催により、全国各地から遺族や同僚が参列し、慰霊祭が行われています。



●戦闘機「紫電改」

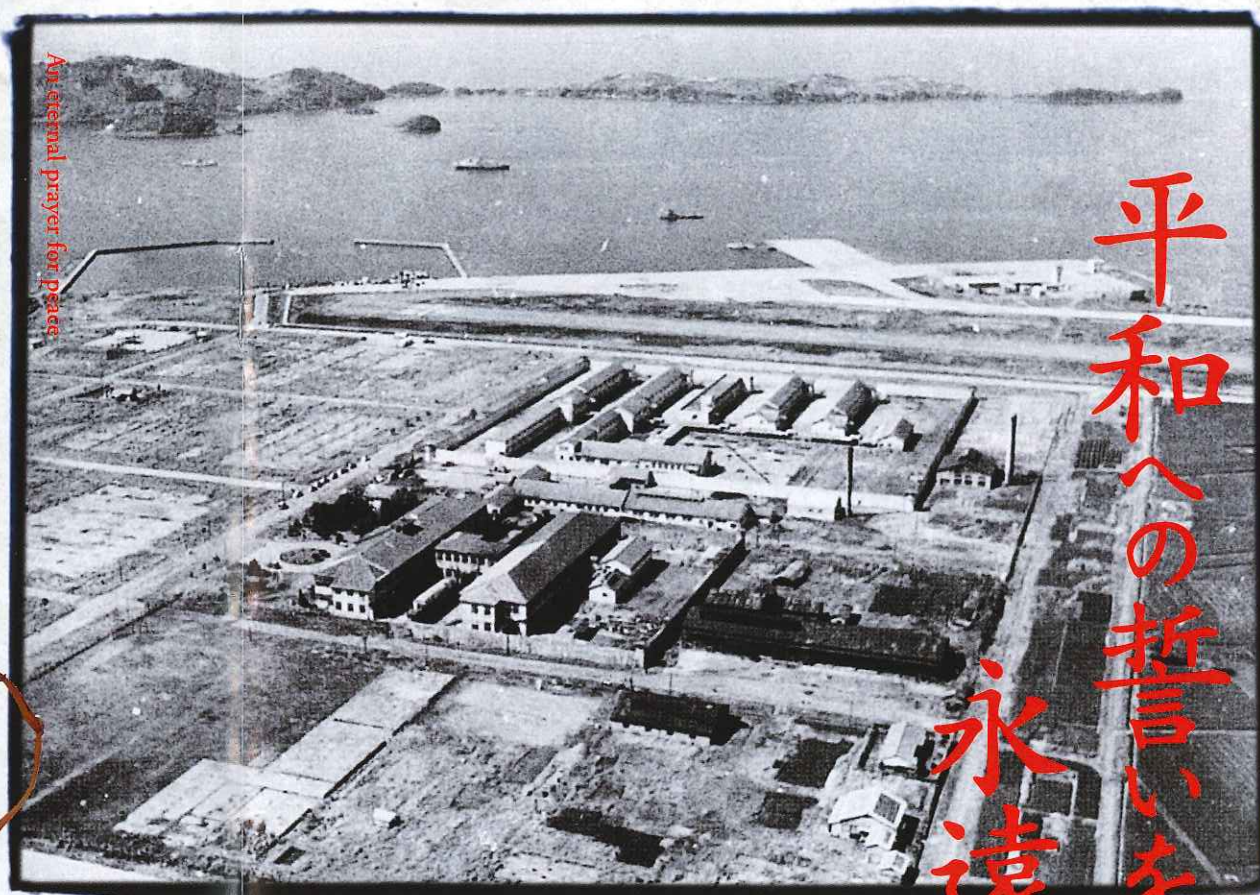
太平洋戦争時代に海軍航空隊で使われた紫電改が製作・修理されていました。



●第21海軍航空廠本部
防空壕跡 (市指定史跡) E-7

大村市古賀島スポーツ広場横に現在も残されています。

※昭和28年頃に撮られた海軍航空 廠本部付近の写真です。



平和への誓いを
永遠に...

「第21海軍航空廠」が
太平洋戦争時代
ここ大村に存在していた

東洋」といわれた飛行機製作工場
大正12年、実戦に役立つ錬成を目的とした1km四方の滑走路を持つ海軍航空隊が大村に誕生し、昭和16年には、東洋」といわれた飛行機製作工場「第21海軍航空廠」が完成しました。この工場では、主に零式水上観測機、流星、紫電改といった飛行機や、発電機の製作・修理を手がけていました。



◎おおむら夏越花火大会



◎おおむら夏越まつり

伝承する大村の お祭りと郷土芸能

- ◎おおむら花まつり……………3月25日～6月20日
- ◎ひなまつり……………3月上旬～4月上旬
- ◎竹松ゆかたまつり……………7月
- ◎おおむら夏越花火大会(夏越宵まつり)……………8月1日
- ◎おおむら夏越本まつり……………8月2日～3日
- ◎松原くんち……………11月中旬
- ◎おおむら秋まつり……………11月頃
- ◎法養祭(黒丸踊)……………11月28日

大村家第16代領主純伊が、およそ6年間の流浪の末、大村領を再び奪回した時の戦勝を祝って舞ったと伝えられる「すまわり寿古踊」「おまた沖田踊」「おむら黒丸踊」。この3つの踊りは郡三踊と呼ばれ、国指定無形民俗文化財になっています。中でも「黒丸踊」は直径5m近くの大花輪(約60kg)を背負って踊る勇壮で華麗な中にも哀調を帯びた踊りです。この大花輪の下を通ると「幸がくる」といわれています。

また、毎年8月1日から3日までの3日間開催される「おおむら夏越まつり」は大村市内

の全25神社が合同で大祓おほはらいを行うものです。各種さまざまな出店や催し、太鼓の競演、郷土芸能が披露されます。そして、おおむら音頭と夢まつりの総踊りが庄巻の市民総参加型のまつりです。期間中、JR大村駅前には提灯大やぐらが登場し、そのスケールには圧倒されます。



◎おおむら秋まつり

大村の郷土芸能の披露と豊かな自然に育まれた新鮮な大村の農産物、地場の工芸品・観光土産品などの特産物や工業製品などを広くアピールする祭りです。

Traditional crafts and festivals of Omura



大村の郷土芸能と祭り

昔の時代を伝える郷土芸能と祭り
現代へ受け継がれる伝統の行事

◎黒丸踊

◎沖田踊

◎寿古踊





●なし狩り B-6



●ぶどう狩り B-6



●コーヒー園
(長崎スコアコーヒーパーク)
B-6

日本初のコーヒー園。4月下旬から9月まで純白の花が咲き誇り、10ヶ月でコーヒーの実はいっぱいになり収穫です。園内はコーヒーの成木のほか、バナナ、パパイヤ、プーゲンビリアなど一年中南国気分を味わうことができます。



●のだけ新茶まつり A-3

大村市と大村湾を一望出来る、野岳湖公園のロザ・モタ広場で、毎年5月3日～5日までの3日間開催されます。地場産品の即売や新茶試飲など多彩な出店や催し物が企画されています。

鈴田峠でスローフードを楽しむ!!



●農村レストラン (鈴田峠野鳥の森レストラン) H-1

地元産の新鮮野菜を使った郷土料理を提供するバイキング形式の野鳥の森レストラン。地元産の新鮮野菜をふんだんに使った家庭料理のほか、白あえやにごみなど大村の郷土料理が楽しめます。また、新鮮な農産物直売所もあります。



●体験型農村交流施設 (おおむら夢ファーム「シュシュ」) B-5

農村交流拠点施設で、手作りパン工房、手作りアイスクリーム工房、バーベキューハウス、農産物直売所があります。体験教室や新鮮いちご狩りもできます。

●道の駅「長崎街道鈴田峠」 H-1

平成28年3月大村市に初めての道の駅が完成。周辺を通っていた長崎街道(シュガーロード)に因んだスイーツを提供するカフェの設置や情報発信施設として活用します。

Home of delicious and juicy fruit



Image photo

●いちご狩り

自分でもぎ採り、その場で食べられる美味しい体験ができます。都市圏でも高い評価をいただいている「長崎とよのか」は粒が大きく、甘酸っぱい豊潤な香りが特徴で、12月～5月まで楽しめます。

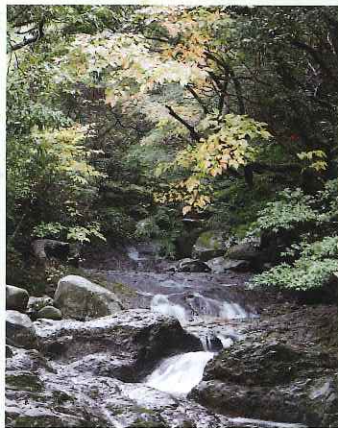
B-5



Image photo

農村で過ごす楽しさが発見できる福重松原地区。大村インターチェンジを降り、レインボーロードを北に走ると「フルーツの里ふくしげ」の看板が見えます。周辺では8月中旬～10月ごろまで、ぶどう、なし、12月～5月までいちご狩りが楽しめます。

また、日本初のコーヒー園や体験型農村交流施設、地元農産物直売所、農村レストランでのスローライフを満喫してみたいかが。



●黒木渓谷(郡川砂防公園、キャンプ場)

夏には川遊びや森林浴、秋には紅葉の名所として知られ、珍しい高山植物や溪流釣りが楽しめます。シーズンには登山客やキャンパーたちで賑わい、周辺には民宿やキャンプ場、バンガロー、郡川砂防公園が整備されています。

B-1

●萱瀬スギ(森の巨人たち百選)

大村藩は林政に力を注ぎ、藩直轄地として造林が盛んでした。東方3kmにあるアスナロ保護林とともに、現存する樹齢約240年の旧藩木です。

C-1

野岳湖公園は、多良岳県立公園に含まれた景勝地。江戸時代に捕鯨で財をなした深澤儀太夫が私財を投じて築いた周囲4kmの人工湖です。この湖の周辺はキャンプ、サイクリング、ベタルボートなどで遊べる山間の憩いのスポットとなっています。また、黒木渓谷は、大村湾に注ぐ郡川の上流にあり、萱瀬ダムを過ぎると多良岳諸峰に囲まれ、登山コース、キャンプ地として最適の場所です。



Enjoy the natural
bounty of Omura



深澤 儀太夫 (ふかざわ ぎだゆう)
捕鯨により莫大な富を得て、神社や寺院の新築や修復、灌漑事業などに、多額の私財を投じました。その中で最大の事業が野岳湖の造成でした。

●野岳湖公園 A-3



●琴平スカイパーク

D-2

標高333mの自然公園。多良連山をバックに眼下には大村市内はもちろん、長崎空港が浮かぶ大村湾、雲仙、西海橋まで一望できます。また展望所をはじめ999段の桜の並木道、全長99.9mのローラーライダー、バターゴルフや草そりを楽しめます。またパラグライダー愛好者には絶好のポイントです。



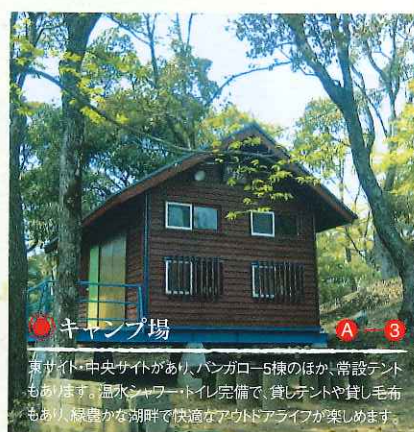
●日岳展望所

1-2

長崎空港が浮かぶ大村湾はもとより、諫早市街や雲仙まで望むことができる絶景ポイントです。色鮮やかな夕陽スポットとしても有名です。

●イチイガシ天然林(国指定天然記念物) D-1

この天然林は多良山系の裾野、海拔200〜300mほどのなだらかな起伏のある丘陵地にあります。国指定天然記念物で市木であるイチイガシを中心に様々な木々が密生し、大樹林を形成しています。



●キャンプ場

A-3

東サイド・中央サイドがあり、バンガロー5棟のほか、常設テントもあります。温水シャワー・トイレ完備で、貸しテントや貸し毛布もあり、緑豊かな湖畔で快適なアウトドアライフが楽しめます。

野岳湖公園と 大村の自然を満喫

大村湾と
多良山系からの
風に吹かれ
のびのび遊んで
自然を満喫

農林水産省「ため池百選」



切れ味最高、丈夫で長持ち、伝統の松原鎌・包丁。今から500年ほど前、平家の一族で名刀工の子孫が松原に住みつき農民の要望に応じて月形の鎌を作ったのが始まり。猟場の黒打ちといって真ん中に鋼を入れて刃こぼれを防いでいること、磨きをかけず地のままの色であること、しかも全工程手作りという名品です。



●松原鎌・包丁



●三彩焼

長与三彩は幻の三彩といわれていました。そして、それを見事開花させたのが三彩の里の秀山窯です。緑・茶・黄の三種の釉薬が溶けて混ざり合ったきらびやかな多彩陶。一つは欲しい逸品です。
大村湾の真珠の歴史は古く、波静かな大村湾で真珠の養殖が行われていました。



●真珠工芸

国の真珠研究所もあつたことから、良質の真珠が生産され、大村の特産品として加工されていきました。
現在でも良質の真珠装飾品として喜ばれています。



Omura craftsmanship and art, honed in daily life



生活の中で磨かれた 大村匠の技と芸術

長年支持されてきた丹念な手仕事、現代の暮らしの中に生きる伝統工芸



レジャーと観光案内

競艇発祥の地は家族でも楽しめます

Leisure and tourism

観光案内所には大村の郷土色豊かなお土産がいっぱい

●大村市観光案内所 F-5

JR大村駅前にあり、大村市内を中心とした観光案内をはじめ、地元製品の販売をしています。どうぞお立ち寄りください。

●営業時間：9時～18時



1ボートの推進力となるプロペラ

●ボートレース大村 G-6

昭和27年日本最初のモーターボートレースを開催し、「ボートレース発祥の地」として全国に広くその名を知られています。場内には全国で唯一の発祥の地記念館を有し、レディースカッパルシートやびっくランド、佐世保バーガー店をはじめフードコート施設も充実。ご家族連れでも楽しめるレジャー施設として親しまれています。

大村の特産品インターネット通販



そらえぎおおむらは、大村の「よかも」を集結させたインターネット通販ショップです。大村の魅力的な物産が揃っています。ぜひご利用ください。

そらえぎおおむら 検索



●大村寿司

美味、大村独特の伝統料理

The delicious flavors of traditional Omura cuisine



●ナマコ



●イイダコ



●シャコ



●ゆでピーナッツ



●いごみ

歴史深い、大村寿司を
はじめとする海の恵み、
山の幸が造り出す
大村の自慢料理

大村藩ゆかりの大村寿司は、戦国時代、領主大村純伊が戦に敗れ流浪の末、領地を取り戻した時、それを喜んだ領民たちが取り急ぎ御飯と具をもちろぶたに詰めた押し寿司をお祝いに出したのが始まり。将兵たちは脇差で四角に切って食べたと言えられています。

また、落花生を殻ごとゆであげた塩ゆでピーナッツは庶民の味として、大村では「ゆでピー」と呼ばれ親しまれています。

ほかにもイイダコ、シャコ、ナマコなど波静かな大村湾に育まれた大村ならではの海の幸、恵まれた自然環境のなかで育てられた豊かな農産物も郷土料理の食材として欠かせません。



